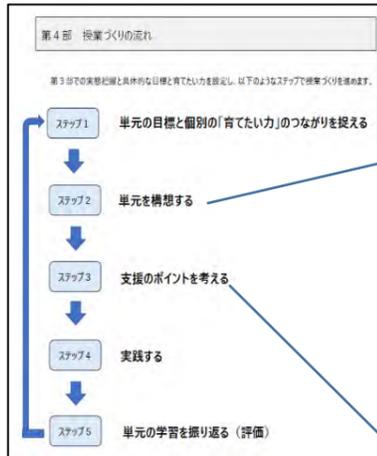


## II 授業実践

「授業実践資料」第4部 授業づくりの流れに沿って授業実践を行いました。ここでは、目指す生徒の姿へ向けて行った学習と支援のポイントについて、参考にした授業実践資料と共に紹介します。

【単元名】自分を見つめ、将来の生き方と進路について考えよう。(中学校第1学年 特別活動)

【授業実践資料 授業づくりの流れ p.11】



### 単元を構想する

時	本時の学習目標
1	自分を見つめ、自分を知ろう。
2	自分を見つめ、自分を知ろう。(交流学級)
3	中学校卒業後の進路について学ぼう。
4	卒業後の進路へ向けて、知りたいことを考えよう。
5	上級学校の見学
6	将来の進路を考え、そのために今できることを考えてみよう。(交流学級)

「個別のキャリア教育年間指導計画」から単元の構成を考えました。

### 支援のポイントを考える

① 困難の状態	② 指導上の工夫の意図	③ 手立て
相手の気持ちを察したり、理解することが苦手な生徒には、	他者の心情を理解しやすいように、イラスト等を活用して視覚的に表したりする。	役割を交代して相手の気持ちを考えたり、理解しやすい場面に置き換えることや、イラスト等を活用して視覚的に表したりする指導を取り入れる。
話を最後まで聞いて答えることが苦手な生徒には、	発言するタイミングが理解できるように、	事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝えるなど、コミュニケーションの関わりについての指導をする。

「中学校学習指導要領解説 特別活動編」より授業実践資料を参考に、支援のポイントを考えました。事前に行った生徒の実態把握を基に対象生徒に必要な支援のポイントを考え、指導案に組み込みました。

実践を進めていく中で、考えていた支援の手立てが実態と合わない場面が出てきました。別の手立てを考え授業に臨むことができ、生徒が活動に最後まで取り組むことにつながりました。実践から、支援の手立てを振り返り、改善しながら進めることを授業実践資料に追記しました。

支援のポイントを考える際の流れについても説明しています。

【授業実践資料 教育的対応の基本】

教育的対応の基本
1. 児童生徒の個別の状況、生活状況、学習状況、発達段階、能力を把握し、適切な支援を行う。
2. 児童生徒の発達段階、生活状況、学習状況、発達段階、能力を把握し、適切な支援を行う。
3. 児童生徒の発達段階、生活状況、学習状況、発達段階、能力を把握し、適切な支援を行う。
4. 児童生徒の発達段階、生活状況、学習状況、発達段階、能力を把握し、適切な支援を行う。
5. 児童生徒の発達段階、生活状況、学習状況、発達段階、能力を把握し、適切な支援を行う。
6. 児童生徒の発達段階、生活状況、学習状況、発達段階、能力を把握し、適切な支援を行う。

【合理的配慮を含む必要な支援】

合理的配慮を含む必要な支援
1. 合理的配慮を含む必要な支援
2. 合理的配慮を含む必要な支援
3. 合理的配慮を含む必要な支援
4. 合理的配慮を含む必要な支援
5. 合理的配慮を含む必要な支援
6. 合理的配慮を含む必要な支援

## III 研究のまとめ

手立て1では、キャリア教育の年間指導計画を特別支援学級の年間指導計画に盛り込み、キャリア教育の視点から育てたい力を整理することができました。手立て2では、授業実践資料を作成し、その資料を基に生徒のキャリア発達段階を把握し単元の構成を考え、授業実践を行いました。また、授業実践資料の「教育的対応の基本」や「合理的配慮を含む必要な支援」を基に支援のポイントを考えました。生徒の変容やアンケート結果から、授業を振り返り、改善しながら授業を進めたことで主体的に自己の在り方生き方を考える生徒の姿を見取ることができたと考えます。これらのことから、本研究で行った二つの手立ては、特別支援学級におけるキャリア教育の充実に資するものになりました。

課題として、生徒のどのような姿がキャリアの発達を裏付けるものであるかの具体的な指標が不足していました。また、今後の課題として、各教科で育てたい力を明確にし、それらを系統立てて指導していく必要があることを挙げます。それにより、中学校特別支援学級におけるキャリア教育の更なる推進につながると考えます。

本研究の報告書は、下記の岩手県立総合教育センターの Web ページに掲載しております。

【岩手県立総合教育センター】

<http://www1.iwate-ed.jp/04kenkyu/210sien.html>



研究主題

# 中学校特別支援学級における将来の自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実に関する研究

ーキャリア発達に応じた授業実践資料の活用を通してー

【研究担当者】 長期研修生 吉田 芽依子  
(所属校 葛巻町立葛巻中学校)

【この研究に対する問い合わせ先】

教育支援相談担当

TEL 0198-27-2821 FAX 0198-27-3562

E-mail sien-r@center.iwate-ed.jp

## I 研究構想

『中学校学習指導要領』(平成29年)では、「生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」と示されました。

キャリア教育の課題として、これまでの調査結果から以下の点が挙げられています。

- ・取組の目標や方法、育てたい力などについて、教員間や校務分掌間での共通理解を図ること
- ・キャリア教育を実践するための体制や方法に関する具体的な計画の不足

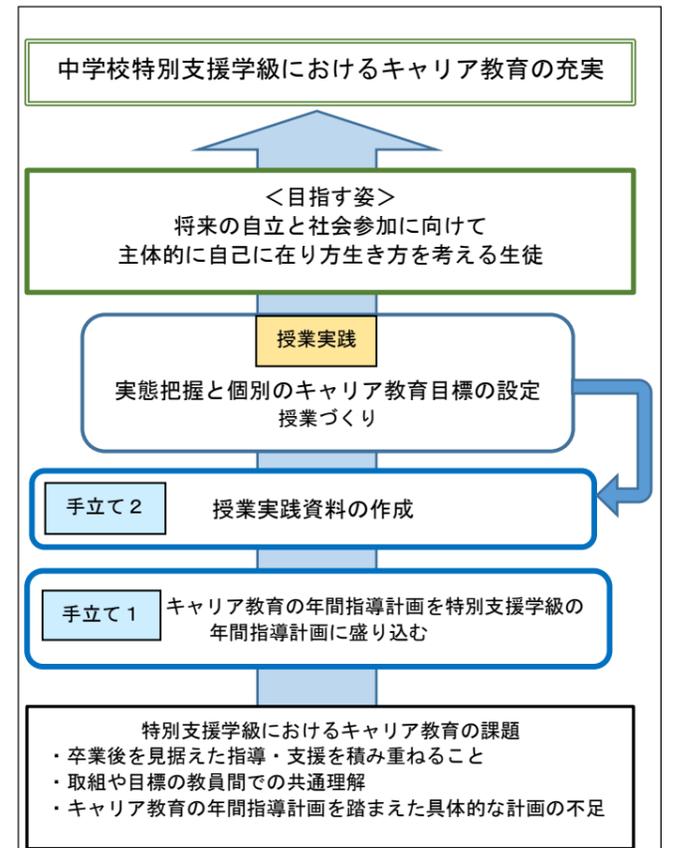
また、『いわて特別支援教育推進プラン(2019—2023)』では、就学から卒業までの一貫した支援の充実のためには、各校種において卒業後の進路や

就労を見据えることができること、卒業後を見据えた指導・支援を積み重ねること、その取組を引き継ぐことなども必要であると述べられています。障がいのある生徒については、一人一人の子供の障がいの状態や発達の段階に応じた指導が求められており、キャリア教育においても、個々の生徒のキャリア発達に応じた具体的な目標や支援の手立てを考える必要があります。

それらのことから、年間を通して育てたい力を教員間で共通理解し、発達段階に応じた目標や支援を踏まえた具体的な計画を立てることが必要であり、その上で主体的に自己の在り方生き方を考える力を育み、自立と社会参加に必要な資質・能力の育成につなげることが重要であると考えます。

そこで本研究では、中学校知的障がい特別支援学級での取組を例にキャリア教育の充実に向け、手立てを右図の2点にして、研究を進めました。

【研究構想図】



## 手立て1 キャリア教育年間指導計画を特別支援学級の年間指導計画に盛り込む

特別支援学級で行われている学習にキャリア教育の年間指導計画を盛り込むために、特別支援学級の年間指導計画に育てたい力の欄を設けました。そのために、キャリア教育の年間指導計画では以下のように、基礎的・汎用的能力の四つの能力を用いて、育てたい力を記載しました。

### <キャリア教育の年間指導計画に育てたい力を表記>

キャリア教育の年間指導計画では、行事や単元等で生徒に育てたい力を、基礎的・汎用的能力の四つの能力と対応させました。



キャリア教育で育成したい基礎的・汎用的能力	
人	人間関係形成・社会形成能力
自	自己理解・自己管理能力
課	課題対応能力
キ	キャリアプランニング能力

### 【キャリア教育 年間指導計画 (例)】

教科	月	4月	5月	6月	7月	8,9月	10月	3月
学校行事	入学式		体育祭	中総体	校外学習	防災復興学習	地区中文祭	3.11集会
	対面式		人自		人課キ	生徒会役員改選	小中通儀00会	卒業式
特別活動	中学校1年生の見通しを授けよう	人	中学校生活の見通しを授けよう	いろいろな職業働く理由	地域に生きる	自分を見つめてみよう	人とつながろう	この1年を振り返ろう
	体育祭に向けて	人	期末テストに向けて学ぶ理由			将来の生き方について考えよう	文化祭に向けて	
総合的な学習の時間	オリエンテーション	キ	自立活動 体育祭	キャリア学習 高校について学ぶ会	キャリア学習 校外学習	防災復興学習	自立活動 文化祭	防災復興学習
道徳				トマトとメロン (個性の神農)			震災を乗り越えて一歩進んだ郷土芸能 (郷土の伝統と文化の尊厳)	

### 特別支援学級の年間指導計画に盛り込む

### 【特別支援学級 年間指導計画 (例)】

各教科等	月	4	5	6	7	3
各教科等	生活単元学習	・中学校生活に慣れよう ・花を育てよう	・体育祭に向けて ・体育祭を振り返って ・稲の秘密 ・花を育てよう	・植物観察コーナー レタスと花を育てよう	・校外学習に向けて ・校外学習を振り返って	・部活の先輩に感謝を伝えよう
	作業学習	・発泡スチロール作品の作り方をしよう	・みんなの名札を作ろう		・名札を完成させ プレゼントしよう	・カリグラフィーで感謝を伝えるメッセージボードを完成させよう
教科別の指導	国語	・朝のりレー ・国語辞典の使い方	・野原はうたう ・漢字に親しもう	・シンジュン ・ダイコンは大きな根?	・ちよっと立ち止まって ・読書を楽しむ	・少年の日の思い出 ・さくらのほなびら
	社会	・地理的分野 ・世界の地域構成 ・日本の地域構成	・歴史的分野 ・歴史のとらえ方 ・身近な地域の歴史	・原始・古代の日本と世界	・原始・古代の日本と世界	・近世の日本と世界 ・天下統一への歩み
	数学	・整数、正負の数 ・分数、小数	・加法、減法 ・時刻と時間	・乗法 ・重さの単位	・除法 ・金銭処理	・一年間のまとめ
特別の教科道徳	・サッカードの漫画を描きたい	・「愛情伝」を はじめませんか	・トマトとメロン ・ばあば	・富士山から変えていく	・1.11のハイキング	
総合的な学習の時間	・オリエンテーション	・自立活動 ・体育祭	・キャリア学習 ・高校について学ぶ会	・キャリア学習 ・校外学習	・防災復興学習	
特別活動	・中学校1年生の見通しをもとう ・体育祭に向けて	・中学校生活の見通しをもとう ・期末テストに向けて	・いろいろな職業 ・働く理由	・地域に生きる	・この一年を振り返ろう	
自立活動	・中学校生活に慣れよう	・制限をたたもう	・自分新聞を作ろう	・挨拶マスターになろう	・一年間の振り返りをしよう	
育てたい力	特別活動 人との関わり 場に応じた言動 総合的な学習の時間 キャリアプランニング能力 生きがい・やりがい	体育祭(総合) 集団参加 協力・共同 自己理解 自己管理 能力 自己理解 目標設定、 振り返り 肯定的な自己評価 習慣形成	特別活動 目標設定振り返り 肯定的な自己評価 情報収集と活用 選択(決定・責任) 高校について学ぶ会 情報収集と活用 働くことの意義 夢や希望 道徳 他者理解	校外学習(総合) 人との関わり、集団参加、意思表現 感謝、あいさつ 目標設定振り返り 肯定的な自己評価 情報収集と活用 働くことの意義 夢や希望 特別活動 人との関わり	3.11集会(総合) 選択(決定・責任) 特別活動 目標設定 振り返り 肯定的な自己評価 総合的な学習の時間 選択(決定・責任)	

### <特別支援学級の年間指導計画に「育てたい力」の欄を設定>

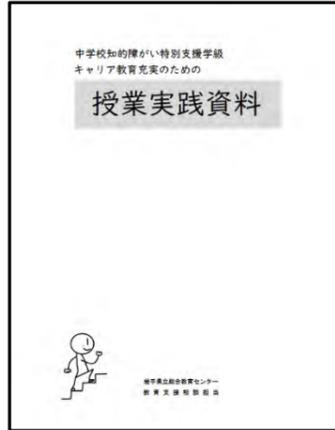
- ①キャリア教育年間指導計画から、行事や単元等で育てたい基礎的・汎用的能力を記載しました。
  - ②「特別支援学級におけるキャリア発達段階評価票」(右図)から、育てたい力を抽出しました。
- 特別支援学級で行われている学習と、キャリア教育との関連を見ることができ、特別支援学級として生徒に育てたい力を明確にすることができます。



詳細につきましては、「授業実践資料」第2部 pp.6-7をご覧ください。

## 手立て2 授業実践資料の作成

知的障がい特別支援学級におけるキャリア教育に関して、生徒の実態把握や、具体的な目標と育てたい力の決定、キャリア発達に応じた指導内容を選定する際に活用するための授業実践資料を作成しました。



### 《目次》

- 第1部 特別支援教育への理解と知的障がいへの基本的な対応
- 第2部 キャリア教育の年間指導計画を踏まえた特別支援学級の年間指導計画の作成
- 第3部 実態把握と個別のキャリア教育目標の設定の流れ
- 第4部 授業づくりの流れ
- 資料1 「特別支援学級におけるキャリア発達段階評価票」
- 資料2 特別支援学級年間指導計画(例)

### 《第3部 実態把握と個別のキャリア教育目標の設定の流れについて》

1 生徒の実態把握  
「特別支援学級におけるキャリア発達段階評価票」を用いて、生徒のキャリア発達がどの段階にあるか把握しました。

2 具体的な目標と育てたい力の設定  
把握した実態と特別支援学級の年間指導計画を基に、「個別のキャリア教育年間指導計画」を作成しました。  
①個別の育てたい力の決定  
単元で重点的に育てたい力を◎、育てることが可能な力を○としました。  
②指導の工夫例を作成  
重点的に育てたい力を育むために、指導の工夫例を記載しました。

### 【個別のキャリア教育年間指導計画(例)】(一部抜粋)

時期	教科等	育てたい力			
		人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
4月	特別活動 中学校1年生の見通しを授けよう 中学校生活に慣れよう		◎		
5月	生活単元学習 体育祭に向けて 体育祭を振り返って	◎	◎◎◎		
6月	特別活動 いろいろな職業 自立活動 自分新聞を作ろう		◎	◎	
7月	総合 校外学習 生活単元学習 校外学習に向けて 校外学習を振り返って	◎		◎◎◎◎	
8,9月	特別活動 自分を見つめてみよう 将来の自分について考えよう		◎		◎
3月	自立活動 1年間の振り返りをしよう		◎	◎	

単元で重点的に育てたい力◎ 育てることが可能な力○

### 【特別支援学級におけるキャリア発達段階評価票】(一部抜粋)

項目	1学期			2学期		
	1	2	3	1	2	3
キャリア教育の理解	○	○	○	○	○	○
キャリア教育の活用	○	○	○	○	○	○
キャリア教育の推進	○	○	○	○	○	○
キャリア教育の発展	○	○	○	○	○	○

日野文貴ら 宮崎大学教育学部紀要(2016)「発達段階に応じた体系的なキャリア教育の試行」  
日野文貴ら 宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター(2018)「特別支援学級におけるキャリア発達段階評価票の改訂」より

### 「特別支援学級におけるキャリア発達段階評価票」とは...

- ・知的障がい特別支援学級に在籍児童生徒の、キャリア発達段階を把握することができます。
- ・学年や年齢にとらわれずにキャリア発達を捉えることができます。
- ・キャリア発達を促す手立てを考えることへつながります。
- ・キャリア発達の変化を捉えることができます。

詳細につきましては、「授業実践資料」第3部 pp.8-9をご覧ください。